

国際養鶏養豚総合展が名古屋で開幕！

~IPPS、真新しい新設会場で盛大に~

国内最大の畜産展示会、国際養鶏養豚総合展2024(IPPS2024)が4月24日、愛知県名古屋市・ポートメッセなごや第1展示館で開幕した。2年ぶり、第10回目の開催となる。26日までの3日間、養豚・養鶏の資材メーカーなどから250社950小間の出展があり、あおなみ線終点の金城ふ頭駅に直結した新設の真新しく広い会場でのメモリアル開催を飾った。小雨が降るなか、初日にも関わらず多くの養豚生産者も来場してにぎわった。25、26日と展示以外にもセミナー、企業プレゼンテーションなど多彩なイベントが組み込まれており、天候回復の下、さらに多くの来場者が見込まれている。主催する中央畜産会では、会期中に2万5000人の来場を予想している。

IPPSは、1992年に第1回が開催され、家畜疾病の発生などで途中、延期もあったが原則3年に1回のペースで開催され、今回で第10回を数えた。従来、中央畜産会施設・機械部会の会員企業で構成する任意団体IPPS運営協議会が主催してきたが、今回から中央畜産会が主催し、企業らが参加する実行委員会が開催・運営に当たる形となった。初日恒例のテープカットのセレモニーには、中央畜産会の森山裕会長(元農相、衆議院議員、自民党総務会長)が来場・挨拶するということで出展者は入場時、荷物チェックを受けるという異例の対応でスタートした。

竣工して間もない新会場は、金城ふ頭駅に隣接した徒歩2分の距離にあり、小雨の降るなか傘をささずに移動でき、利便性は高い。

新型コロナウイルスが5類に移行して初めての開催ということもあり、関連企業の出展意欲は高く、養豚・養鶏生産者の参加意欲も高かったようだ。資材高騰、円安がさらに進むなか、投資意欲は削がれがちだが、高い生産性を維持するうえで健全な設備更新は不可欠であり、将来の投資対象を実際に見て吟味する重要性は高まっている。

展示会と並行して、会場内のセミナースペース、あるいは隣接施設での企業プレゼンテーションは3日間、限なくプログラムが埋まり、初日から、関心の高い企業プレゼンテーションは立ち見の出るところも少なくなかった。

また、この日はIPPS特別企画として、共催団体の1つである日本養豚協会(JPPA)青年部会による「俺たちの豚肉を食ってくれ！」の“名古屋版”が実施された。JPPAの活動が若手生産者から説明されたあと、能登半島地震の被災者支援を目的に、会員らが持ち寄った豚肉製品や“お宝”を競り合うオークションが行われ、会場の一角をにぎわせた。

以下、残り2日間に予定されているセミナー、企業プレゼンテーションのプログラムを紹介する(次頁)。時間帯が重複するものも多いので、詳しくは会場配布されるパンフレットや、事前にHPで掲載されているプログラムを確認のうえ、事前にスマホ等で登録を済ませておくとう便利。また、フードコーナーでは豚肉・鶏肉・卵を使った試食品の提供や販売も行われており、ハンガリーの国宝豚「マンガリツァ」の加工品や焼き肉での試食も人気。また、出展企業の展示物について人気投票で順位を決めて表彰する「IPPSアワード2024」も行われ、特設コーナーで製品やパネルを展示して投票を受けつけている。

■IPPS2024、2・3 日目の主なプレゼン

以下、養豚関連の主なセミナー・企業プレゼンテーションのタイトルを紹介する。

■特別講演

▼4月25日(木)

11:00～12:00

●鳥インフルエンザ、豚熱との戦い いかに農家を守るか……迫田義博(北海道大学大学院獣医学研究院)

13:00～14:00

●世界の穀物需要とわが国畜産が向かう方向……柴田明夫((株)資源・食糧問題研究所)

▼4月26日(金)

11:00～12:00

●2024 変動する国産豚肉の需給動向……大槻祐吾(JA 全農ミートフーズ(株))

13:00～14:00

●アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理等……和田 剛(農水省畜産局畜産振興課)

■企業プレゼンテーション

<https://ipps.gr.jp/presentation/>

▼4月25日(木)

●農場 HACCP 認証制度について……(公社)中央畜産会

●今日からできる!ネズミを定着させない農場づくり……セントラルトリニティ(株)

●国内初 PRRS 不活化ワクチン～安全性に関するデータと農場での使用事例～……日生研(株)

●省人・省力・省エネの最新機器について……イワタニ・ケンボロー(株)

●海外のローソニア感染事例から考える「豚を健康に育てる免疫とβ-グルカンが持つ可能性」……(株)ワイピーテック

●鶏と豚の腸内菌叢のお話～最新トレンドを交えて～①……アサヒバイオサイクル(株)

●【養豚】「抗病性 UP」は「治療」に勝る(末吉益雄)……東亜薬品工業(株)

●シン・ダイヤトータルシステム～進化する養豚IoT～……(株)ダイヤ

●哺乳期子豚の成績改善のための新たなアプローチ……エランコジャパン(株)

●鶏と豚の腸内菌叢のお話～最新トレンドを交えて～②……アサヒバイオサイクル(株)

●最適な生涯成績を残すための候補豚の準備と保護……DSM(株)

●養豚を持続可能にする Eco-Pork の DX 技術……(株)Eco-Pork/トヨタ自動車(株)

●芽胞性生菌剤「ラクリス™」は腸管機能向上を介して家畜生産に貢献する(塚原隆充)……三菱ケミカル(株)

●デンマークから学ぶ「吸収の早いタンパク質とバイオセキュリティの事例紹介」(Jes Klausen)……(株)ワイピーテック

●【畜産 DX】働き方改革×生産性向上……(株)YE DIGITAL/佐鳥電機(株)

●抗菌性飼料添加物「フラボマイシン」のユニークな作用による薬剤耐性菌低減効果……Huvepharma Japan(株)

▼4月26日(金)

●「スミフローラ™」のプレバイオティクス効果を通じた子豚育成成績の向上……住友化学(株)

●養豚における酪酸菌含有製剤の有効性と徳島大学での取り組みについて(平田真樹)……ミヤリサン製薬(株)

●豚精液品質管理の自動化と従来法との比較……(株)セントラル科学貿易

●ベーリンガーインゲルハイムのブタ用新製品「エンテリコリックス」……ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン(株)

●養豚におけるファイバーの位置づけ……レッテンマイヤージャパン(株)

●目指せ子だくさん「離乳頭数増加は母豚の健康から」……(株)ワイピーテック

●熱いアジアにおけるダンプレッドの飼養管理法……(株)シムコ

●鶏糞・豚糞の堆肥ペレット化設備について(実施)……三洋貿易(株)

●皮内投与型 針なし連続注射器 IDAL・IDAL TWIN および専用ワクチン……MSD アニマルヘルス(株)

●活性型ビタミン D3 を含む植物末と次世代型酪酸の養豚養鶏用飼料への利用と期待効果……(株)ジンマックス・ジャパン

●非常用発電機メンテナンスについて……(株)ワイピーテック

●畜産 DX による働き方改革(キリンマドリームファーム)……(株)YE DIGITAL/佐鳥電機(株)